



広報

たちかわ

【今号の主な内容】

- 2面 平成30年度予算の概要
- 3面 若葉台小学校が開校
- 4面 今後の公共施設改修の考え方を見直しました
- 5面 市民委員を募集
- 6・7面 今、立川のバスケが熱い／市民伝言板
- 8・9面 健康／スポーツ／募集／講座
- 10・11面 催し／シニア／子ども子育て／お知らせ／くらしの相談日程
- 12面 緑化まつり

発行／立川市 編集／総合政策部広報課
立川市役所 〒190-8666 立川市泉町1156-9
Tel 042(523)2111〔代表〕 Fax 042(521)2653

4.10

平成30年(2018年)
月2回(10日・25日)発行

ホームページ ● <https://www.city.tachikawa.lg.jp/>
ツイッター (@tachikawa_tokyo) ● https://twitter.com/tachikawa_tokyo
動画チャンネル(YouTube) ● <https://www.youtube.com/user/TokyoTachikawa>

市民と市政のつながりを“わ”で表しています



平成30年度 市の予算が 決まりました

市は、第4次長期総合計画で掲げているまちの将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」の実現に向け、5つの政策(「子ども・学び・文化」「環境・安全」「都市基盤・産業」「福祉・保健」「行政経営・コミュニティ」)における重点取組施策を中心に予算を編成しました。平成30年度一般会計の予算は前年度に比べて23億7,100万円増加し、過去最大規模の741億5,500万円となりました。

くわしくは2面へ



かたらい夢みらい

平成30年度予算が市議会で3月22日に決まりました。一般会計の予算は741億円を超え、立川市始まって以来の大型予算となりました。特に社会保障関係経費である扶助費が歳出全体の約35パーセントを占めており、今後もさらに行財政改革に努めていかなければならないと考えています。

また、市はこれまで既存の公共施設の保全について、大規模改修を前提としてきました。しかしながら20年後の高齢化、人口減少を考慮し、公共施設保全計画は原則保留とし、平成30年度中に公共施設再編個別計画を策定することを議会に報告しました。

4月1日には「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を施行しました。障害のある方への理解を深め、差別解消に向けた取り組みを促進しなければと改めて決意しています。

5月7日からは、立川市・立川病院こども救急室で月曜日から金曜日まで受診することができるようになりました。詳細につきましては、今後、「広報たちかわ」や市ホームページ等を通じてお知らせします。

立川市長 清水庄平